

質疑応答書

質疑のありました項目への回答を次のとおりお知らせします。

工事名		役場庁舎暖房機改修工事	
		質疑	回答
1	設計図面 M-005 設計内訳書 No.32	PH1階設備図に記載があります、取外し更新の遮音パネルはどのような断面形状・構造・寸法なのでしょう。(機械設備工事編の標準仕様書、標準図にはこれについての記載内容がないのと設計図書-005図と内訳書の仕様からだと、どういうものか把握できません。)	金属フレームにグラスウールボードt50を嵌め込んだ形状で、W600×H2300、W1600×H2300の2枚をT字に取り付けます。フレームはスチールプレートt2.3成形で、両面溶接金網150×150×6φ押えとしてください。
2	設計図面 M-003 設計内訳書 No.36	鋼板製防油堤1,000×1,000×350Hは、底有り5面体又は底無し4面体のどちらでしょうか。又、5面体とした場合、オイルサービスタンク架台の設置面はどのような補強が必要でしょうか。(有効容量以上の高さ以上まで、オイルサービスタンク架台受けの鋼材を製作し底板に溶接するとか。)	鋼板製防油堤は、底面有5面体です。架台の設置面の補強方法については、提案の補強方法で宜しいです。
3	設計図面 M-004	オイルポンプが防油堤で囲うようになっていませんが、庁舎が危険物取扱所の扱いであればオイルポンプも危険物取扱所の規制範囲の一部と見なされて防油堤が必要になるのではないのでしょうか。	危険物取扱所の扱いにならないため、防油堤は不要です。
4	設計図面 M-004	温風暖房機が大気汚染防止法の規制にかかるとの観点からの確認ですが、既設煙道経路内には排煙濃度計、測定口はあるのでしょうか。	既設角煙導に測定口があり、フランジも設置されています。
		回答年月日	平成31年4月19日